2026年11月9日

各　位

会　社　名　株式会社フリークアウト・ホールディングス
代 表 者 名　代表取締役社長 Global CEO　本　田　　謙
（コード番号：6094　東証グロース）
問 合 せ 先　取　締　役　C　F　O　永井　秀輔
（ TEL. 03-6721-1740）

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2026年3月19日に開示した2026年9月期（2025年10月1日～2026年9月30日）の通期連結業績予想数値を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

（2025年10月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	EBITDA	調整後当期利益
前回発表予想（A）	百万円 55,600	百万円 1,300	百万円 1,600	百万円 790	円 銭 45.46	百万円 3,100	百万円 950
今回の修正予想（B）	56,704	867	1,876	1,324	76.19	3,148	1,235
増減額（B－A）	1,104	△433	276	534	―	48	285
増減率（%）	2.0%	△33.3%	17.2%	67.6%	―	1.6%	30.0%
（参考）前期実績（2025年9月期）	50,323	96	564	275	15.85	1,952	691

2. 修正の理由

通期決算の作業を進め、業績の数値を精査した結果、前回発表予想との間に以下のとおり差異が生じる見込みとなりました。

売上高につきましては、各事業が堅調に推移したことにより、前回発表予想を1,104百万円（2.0%）上回る見込みであります。

営業利益につきましては、主に以下の要因により、前回発表予想を433百万円（33.3%）下回る見込みとなりました。
・アジア事業において、第3四半期までの損失を第4四半期の収益改善により補う計画としておりましたが、第4四半期の改善幅が計画に及ばなかったこと
・プロダクト事業において、Connected TV領域の粗利減少を事業全体の売上高では補ったものの、粗利率の高い新規事業領域の収益貢献が計画を下回ったことにより、売上高の増加に対して利益の伸びが限定的となったこと
・第4四半期において、一部営業投資有価証券の減損を計上したこと

一方、EBITDA及び経常利益につきましては、持分法適用関連会社であるIRIS社の業績が好調に推移し、持分法による投資利益が増加したことにより、前回発表予想をそれぞれ48百万円（1.6%）、276百万円（17.2%）上回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、オフィス移転関連費用の損金算入による税負担の軽減等により、法人税等が前回発表予想時の見込みを下回ったことから、前回発表予想を534百万円（67.6%）上回る見込みとなりました。

以上のとおり、営業利益は前回発表予想を下回る見込みとなりましたが、これは主に当社グループの事業ポートフォリオの構成に起因するものであります。当社が重視する経営指標であるEBITDA及び調整後当期利益は、いずれも前回発表予想を上回る見込みであり、グループ全体の業績は順調に推移しております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上